

***ISEPTUFS Students &  
Special Auditing Students***

***Guidebook of  
Class Registration  
=2013 Spring Semester=***

***ISEPTUFS・特別聴講学生 履修案内  
=2013 年春学期=***

***Tokyo University of Foreign Studies  
東京外国語大学***

# TUFS Academic Calendar - 2013 Spring Semester

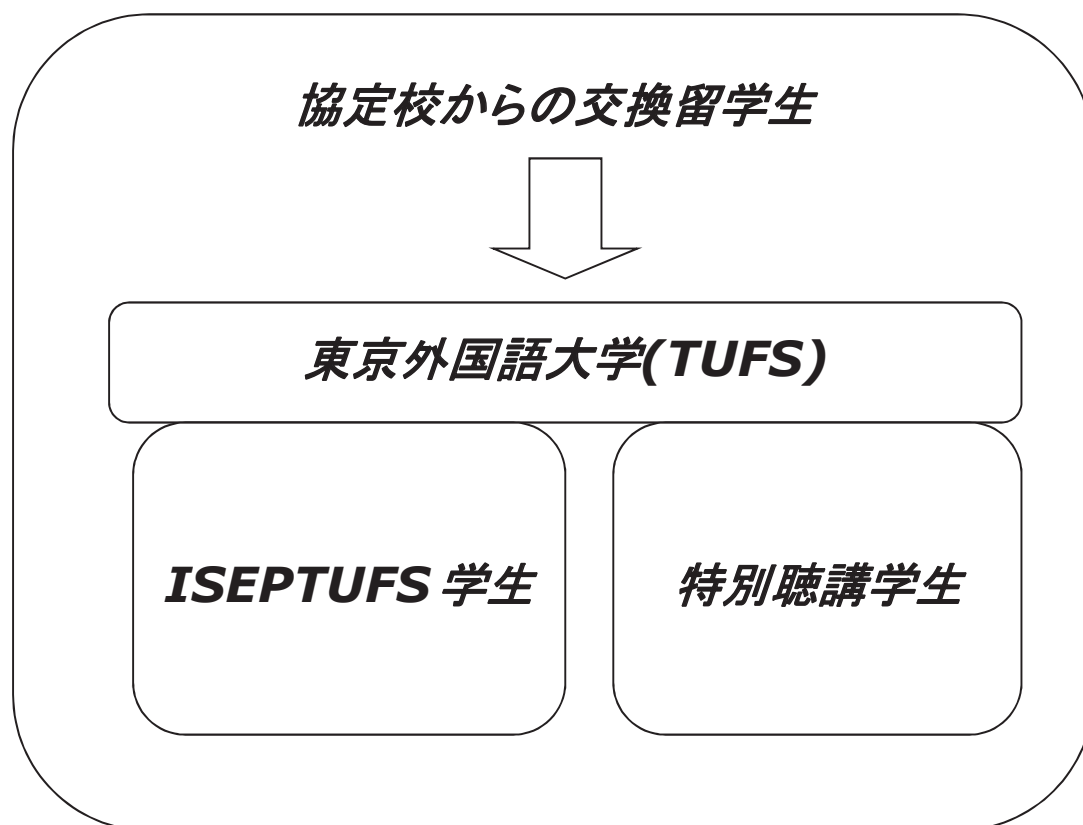
For International Student Exchange Program TUFS' students and Special Auditing Students

<i>Events for the Year 2013</i>		
Apr 1(Mon) or 2(Tue)	(2013. 4 entry) Exchange students Arrival	来日
Apr 3(Wed)	Orientation for the International Students	オリエンテーション
Apr 3(Wed)	Medical examination for <b>2013. 4 entry</b> students	健康診断
Apr 4(Thu)	Placement test for students participating in ISEPTUFS' students, etc...	プレイスメントテスト
Apr 8(Mon)	2013(Heisei 25) Spring semester Classes begin for Japanese Language Program and the undergraduate and graduate students.	授業開始
Apr 15(Mon) - 19(Fri)	Class registration period: (Spring Semester)	春学期履修登録期間
May 29(Wed)	University boat race (No Classes)	ボート大会(休講)
Jul 29(Mon) - Aug 2(Fri)	Spring semester Final Exams	春学期定期試験
End of July	(2013. 8 graduate) Closing Ceremony	閉講式
Aug 3(Mon) - Sep 30(Fri)	Summer Break	夏休み

\*These schedules might change.

## 交換留学プログラム

東京外国語大学には、交換留学プログラムとして、①定められたルールにより修了証の取得を目的とする、東京外国語大学国際教育プログラム(International **S**tudent **E**xchange **P**rogram of **T**okyo **U**niversity of **F**oreign **S**tudies: ISEPTUFS)のコースと、②修了証を目的とせずに、自由に科目を選択することができる**特別聴講学生(Special Auditing Student)**のコースがあります。



## 1. ISEPTUFS って何？

### 1.1 プログラムの目的

ISEPTUFS は、日本人学生・留学生を問わず、本学のすべての学生のために開かれている、1年間の短期留学プログラムです。本プログラムは、学生相互の国際交流(自国と日本、自国と諸外国)を推進し、知的な交流を深め、国際性豊かな優れた人材を育成することを目的に「日本で学ぶ」有意義な機会を与えるものです。そして同時に、東京外国語大学がグランドデザインに明記する「IJ 共学」(日本人学生と留学生が共に学ぶこと)の推進力となるものです。

### 1.2 プログラムの歴史

ISEPTUFS は 1998 年 10 月から、留学生の正式な受け入れを開始しました。それ以前の短期留学プログラムは、受け入れ担当教員個々の裁量にもとづくものでしたが、ここに新たに、プログラムとして短期留学生を受け入れるシステムが加わったこととなります。

2013 年現在では、16 年目となりました。当初は 20 名だった受け入れ学生数も次第に多くなり、現在では 90 名以上の学生が学んでいます。その中には奨学金をもらわず、私費で学んでいる学生も少なくありません。

### 1.3 プログラムの特徴

他大学の短期プログラムと比べて、ISEPTUFS には以下のような特徴があります。

- (1) 東京外国語大学に設置されている 27 地域言語を活かして、各学生が母語で指導教員から指導を受けられます。
- (2) プログラム専任の教員が充実しているので、単なる専門科目の「よせ集め」ではない、日本学・国際研究の専門科目をそろえることができます。
- (3) ISEPTUFS の専門科目(2.1.2.を参照)では、日本人学生も授業に参加するので、日本人学生と友達になれるよい機会になります。

上記のような特色を活かした ISEPTUFS は、「IJ 共学」理念の実現に向けて、東京外国語大学の大きな特長となりつつあります。既に新聞・テレビなど、マスメディアからの取材も多くなっています。

## 2. ISEPTUFS 学生

ISEPTUFS 学生は専門科目の履修別に「国際研究コース International Studies Course」「日本研究コース(Japan Studies Course)」に分かれます。

「国際研究コース」は、本学の特色を生かした地域横断的な視点からグローバルな主題を学ぶもので、「日本研究コース」は、国際的な視点からより深く、多角的に日本を主題として学びます。一部の授業は日本語でも行います。

### 2.1 受講科目について

#### 2.1.1. プログラムの修了

ISEPTUFS 学生がプログラムを修了するためには、以下の条件があります。

1. 2 学期間在籍していること。
2. 国際研究コースまたは日本研究コースのコースリストから 12 単位を修得すること。
3. 学部開講の授業または留学生日本語教育センターの全学日本語プログラム(JLP)から 8 単位を修得すること。
4. 上記 2 と 3 で合計 20 単位を修得すること。

- 20 単位以上を修得することも可能です。履修した科目はすべて成績表に記載されます。
- 言語科目は 1 科目 1 単位となりますので注意が必要です。

#### 2.1.2. ISEPTUFS プログラム専門科目

ISEPTUFS 学生は必修科目として国際研究コース及び日本研究コースのコースリストの中から授業を履修しなければなりません。

専門科目のほとんどは英語で開講されます。ISEPTUFS 学生は最低、1 週間に 3 回履修することが修了要件となっています。

専門科目には、日本の宗教や古典文化を学ぶレクチャー型の科目や、コミュニケーション・プレゼンテーションを中心に行われるリサーチ&プレゼンテーション科目などがあります。開講科目の詳細はシラバスをご覧ください。

#### 2.1.3. 専門科目以外の学部で開講される科目

学部で開講されている科目または日本語科目(全学日本語プログラム)から合計 8 単位となるように履修しなければなりません。言語科目は 1 学期間で 1 単位、講義科目は 1 学期間で 2 単位となります。

学部の授業には一部、履修できない授業がありますので注意してください。

#### 2.1.4 日本語科目 (Japanese Language Program)

日本語科目は「全学日本語プログラム(JLPTUFS: Japanese Language Program of Tokyo

University of Foreign Studies)」を履修します。このプログラムは東京外国語大学で学ぶ留学生全体のプログラムで、それぞれのコースの中心となるのは、週に2～5回学ぶ「総合日本語」です。その内容を以下に紹介します。日本語科目に関する詳細は、「全学日本語プログラム履修案内」をご覧ください。

修得単位は1科目1単位となります。

なお、日本語科目は、「聴講のみの登録」はできませんので、注意が必要です。

### ＜レベル別開講クラスとクラス番号一覧＞

レベル	集中 コース	レギュラーコース						
		総合	技能／トピック別 (週1コマ)				漢字	発音
初級 100～	100 (10コマ)							
初中級 200～	200 (10コマ)							
中級1 301～		301 (5コマ)	文法 311	読解 312	聴解 313	文章 314	口頭 315	漢字 901
中級2 401～		401 (5コマ)	文法 411	読解 412	聴解 413	文章 414	口頭 415	902
中上級 501～		501 (5コマ)	文法 511	読解 512	聴解 513	文章 514	口頭 515	903
上級1 601～		601 (3コマ)	文法 611	読解 612	聴解・時事 613	文章 614	口頭 615	904  発音 911
上級2 701～		701 (2コマ)	文法 711	読解 712	聴解・時事 713	文章 714	口頭 715	
超級 801～				文章 824	時事 826	ドラマ 827	ビジネス 828	

※文章＝「文章表現」、口頭＝「口頭表現」、時事＝「時事日本語」、ドラマ＝「ドラマ・ドキュメンタリー」、ビジネス＝「ビジネス日本語」、文章824＝「アカデミック・ライティング」

#### 日本語 100-200 レベル

このコースは自国で日本語の初級(日本語能力試験N4レベル)を終了していない学生に対する日本語コースです。200レベル終了時には、初級から初中級レベルの日本語を学習し、4技能(読む・聞く・書く・話す)について、「大学で学ぶための日本語運用力」(Japanese for Academic Purposes)の基礎が身に付きます。100レベル、200レベルともに、週10コマのクラス(集中コース)を受講します。

### 日本語 300-500 レベル

このコースは自国で200レベルまたは同等に相当する日本語授業を終了した学生に、中級レベルあるいは中上級レベルの「大学で学ぶための日本語運用力」(Japanese for Academic Purposes)をつけることを目標に設定されたコースです。週 5 回の総合クラスに加え、多彩な選択科目(週1回×5 科目)があり、希望する学生は週 10 コマ受講できます。その他にも、漢字クラスと発音クラス(500 レベル以上)の受講が可能です。

### 日本語 600-700 レベル

このコースは自国で日本語 500 レベルまたは同等に相当する日本語授業を終了した学生に、上級の「大学で学ぶための日本語運用力」(Japanese for Academic Purposes)をつけることを目標に設定されています。週 3 回(600 レベル)または 2 回(700 レベル)の総合クラスに加え、多彩な選択科目があります。

### 日本語 800 レベル

このコースは自国で日本語 700 レベルまたは同等に相当する日本語授業を終了した学生に、超級の「大学で学ぶための日本語運用力」(Japanese for Academic Purposes)をつけることを目標に設定されています。文章、時事、ビジネス、ドラマが設置されています。

#### <プレイスメント・テストと日本語レベル>

来日してから受けるプレイスメント・テストは1度だけです。学期中に履修した日本語科目(漢字・発音クラスを除く)の成績が、3単位相当以上、B以上であった場合に、翌学期に一つ上の日本語レベルの科目を履修できます。詳しくは、全学日本語プログラム履修案内を参照してください。

#### <履修クラスへの出席>

全学日本語プログラムで開講される日本語クラスの出席はすべて留学生課で管理されています。法務省入国管理局の指導のもとに、留学生の出席状況は必要に応じて報告されます。出席状況が 80%以下の場合、成績判定ができなくなります。また、留学生としての身分が失われる可能性がありますので、注意してください。

## **3. 特別聴講学生**

特別聴講学生は、ISEPTUFS 学生と違い、修了証の取得を目的としませんので、特別の履修モデルはありません。自由に科目を選択することができます。

### **3.1 受講できる科目**

#### **3.1.1. 専門科目(ISEPTUFS科目)**

#### **3.1.2. 学部で開講される科目(一部受講できない科目があります)**

※大学院に在籍する特別聴講学生は、大学院で開講される科目も受講できます。

#### **3.1.3. 全学日本語プログラム(Japanese Language Program)**

#### **4. 受講できない科目**

学部の開講科目のうち、英語 I、ドイツ語 II、のように、科目名に「I」「II」がつく科目は受講できません。

#### **5. 履修登録**

履修する科目を決定したら、次の書類を履修登録期間内に提出してください。履修登録をせずに授業を受けても単位を取れません。

- ・ 履修登録票
- ・ 日本語科目のマークシート
- ・ 授業聴講依頼 (ISEPTUFS 専門科目・日本語科目以外の科目を履修する場合、この書類を提出してください)

#### **6. 単位の認定と修了証**

ISEPTUFS 学生が修了証 (certificate)を得ようとする場合、在学中の1年間で、2.1.1の記載のとおり少なくとも20単位以上を取得しなければなりません。要件を満たさなければ、修了証は発行されません。学期のはじめに科目アドバイザー (Subject Advisor)のもとへ相談に行き、正しい履修をおこなっているかどうか、かならず確認してください。

東京外国語大学で履修した単位は次のように認定します。

講義科目 2単位

言語科目 1単位

日本語科目 (全学日本語プログラム)

100, 200 : 10単位

301, 401, 501 : 5単位

601 : 3単位

701 : 2単位

310番台, 410番台, 510番台, 610番台, 710番台, 820番台, 900番台 : 1単位

なお、本学が認定した単位数が卒業・学位授与に関する単位に認定されるかどうかは、出身大学の判断によります。

また特に希望する場合、専門科目は追加の課題 (Extra Work) によって3単位として認定することも可能です。詳しくは各科目の開講時に個々の担当の先生に相談してください。学期の終わりに追加の課題をおこなうことは大変ですから、早めに相談する必要があります。ただし、追加の1単位を修了証に必要な20単位に換算することはできませんので注意してください。



## 7. 指導教員・科目アドバイザー

各留学生には、指導教員(Academic Advisor)がいます。このほかに、ISEP 科目・日本語科目には科目アドバイザーがいます。学期のはじめに科目アドバイザー(Subject Advisor)のもとへ相談に行って、正しい履修をおこなっているかどうか、かならず確認してください。

科目アドバイザー		
ISEP 科目	教授 岡田 昭人	
日本語科目	准教授 伊集院 郁子	

## 8. その他の情報

授業時間	1 時限	8:30～10:00
	2 時限	10:10～11:40
	3 時限	12:40～14:10
	4 時限	14:20～15:50
	5 時限	16:00～17:30
	6 時限	17:40～19:10

困ったことや悩み事があっても、相談相手がいないとき、先生や友達に相談したくないときには、学生相談室で相談員に相談してください。

《学生相談室》

日時 月曜～金曜 12:00～16:00

場所 研究講義棟 1 階

連絡先 042-330-5560 e-mail: [gakusei-soudan](mailto:gakusei-soudan)

学生相談室で相談するほかに、専門のカウンセラーに相談することができます。

- ・ カウンセリングの日は 毎週金曜日 13:00～17:00
- ・ 場所は 保健管理センター1 階

次のような質問は留学生課に相談してください。

- ・ 履修登録に関する質問や相談
- ・ 各種証明書に関する相談

次のような事柄は留学生課に届け出てください。

- ・ 住所、電話番号などの変更
- ・ 帰国や一時出国などの予定

留学生課(事務局棟 1 階)

オフィスアワー : 平日 9:00~17:00

〒183-8534

東京都府中市朝日町 3-11-1

## 9. メモ

アカデミックアドバイザー

氏 名			
研究室番号		オフィスアワー	

授業時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限目					
2時限目					
3時限目					
4時限目					
5時限目					
6時限目					

*2013 Spring Semester*

*ISEPTUFS Syllabus*

ISEPTUFS専門科目 / ISEPTUFS Elective Classes  
2013年度国際研究コースリスト/ International Studies Course List for the AY2013

**春学期/Spring Semester**

NO	Code/履修コード	Period/時限	Title/科目名	Credits/単位数	Instructor/教員	Room No./教室	Remarks備考
1	9476	Mon 6 月・6	Literature and Music	2	Steven MORGAN モーガン	307	
2	9506	Tue 4 火・4	World Religions	2	ILEANA TRUFAS トルファシュ	TBA	
3	9478	Tue 5 火・5	★Corporate Governance & Culture in Comparative Perspective – Seminar	2	Hiroki ICHINOSE 市瀬 博基	207	
4	9486	Wed 3 水・3	Environment and Human Life	2	Fumiko HAKOYAMA 箱山 富美子	114	
5	9487	Wed 4 水・4	International Social Development 1	2	Fumiko HAKOYAMA 箱山 富美子	226	
6	9472	Wed 5 水・5	Translation Studies	2	Kayoko TAKEDA 武田 珂代子	204	
7	5006	Thu 3 木・3	★★Introduction to Linguistics	2	Ryujiro HAYASHI 林 龍次郎	100	
8	9455	Thu 5 木・5	★Globalization and Immigration – Seminar	2	Seiko OYAMA 小山 晶子	100	
9	9485	Thu 6 木・6	Second Language Acquisition	2	Eric HAUSER ハウザー	307	
10	9470	Fri 2 金・2	Language and Globalization	2	Kazuhiko YOSHIDA 吉田 一彦	104	
11	9469	Fri 5 金・5	Language and Society	2	Norie YAZU 矢頭 典枝	214	
12	9459	Fri 5 金・5	War and Journalism	2	Kazuo ABIKO 我孫子 和夫	318	
13	9503	Fri 6 金・6	Applied Linguistics	2	ホーネス Paul Martin HORNESS	102	
14	6026	Intensive 集中	★★Globalization and Multicultural Communities	2	Megumi ARAI 新井 潤美	TBA	
15	9500	Intensive 集中	★Cultural Studies	2	Ted MOTOHASHI 本橋 哲也	TBA	

Note: Stars represent the course level.

**秋学期/Fall Semester**

NO	Code/履修コード	Period/時限	Title/科目名	Credits/単位数	Instructor/教員	Room No./教室	Remarks備考
1		Fri 5 金・5	International Economic Assistance for the Developing World 2	2	Mir Monzurul Huq		
2		Fri 5 金・5	★★Language and Society	2	YAZU		
3		Mon 5 月・5	★★International Economy	2	SONE		
4		Mon 2 月・2	★★International Political Economy	2	SUGINOHARA		
5		Fri 2 金・2	★Language and Globalization – Seminar	2	YOSHIDA		
6		Wed 5 水・5	★Translation Studies – Seminar	2	TAKEDA		
7		Thu 6 木・6	★Second Language Acquisition – Seminar	2	HAUSER		
8		Fri 6 金・6	★Applied Linguistics – Seminar	2	HORNESS		
9		Wed 4 水・4	Intercultural Communication	2	KOMISAROF		
10		Mon 6 月・6	★Literature and Music – Seminar	2	MORFAN		
11		Wed 3 水・3	★Environment and Human Life – Seminar	2	HAKOYAMA		
12		Tue 5 火・5	Corporate Governance & Culture in Comparative Perspective	2	ICHINOSE		
13		Thu 5 木・5	Media and Social Changes 2	2	ABIKO		
14		Tue 4 火・4	★World Religions – Seminar	2	TRUFAS		
15		Wed 4 水・4	International Social Development – Seminar 2	2	HAKOYAMA		
16		Fri 5 金・5	★War and Journalism – Seminar	2	ABIKO		
17		Thu 5 木・5	Globalization and Immigration	2	OYAMA		
18		Unfixed 未定	Introduction to Peace and Conflict Studies 2	2	Unfixed		
19		Unfixed 未定	International Law	2	TAKASHIBA		
21		Unfixed 未定	★★World History 2	2	担当者未定		

This schedule is subject to change.

ISEPTUFS専門科目 / ISEPTUFS Elective Classes  
2013年度日本研究コースリスト/ Japan Studies Course List for the AY2013

**春学期/Spring Semester**

NO	Code/履修コード	Period/時限	Title/科目名	Credits/単位数	Instructor/教員	Room No./教室	Remarks備考
1	9474	Mon 2 月・2	Comparative Literature	2	David ZOPPETTI デビット ゾペティ	107	
2	9489	Mon 4 月・4	Japanese Language and Culture	2	Yohey ARAKAWA 荒川 洋平	JLC 103	
3	9461	Mon 5 月・5	Japanese Religions	2	Kazuo MATSUMURA 松村 一男	318	
4	9508	Tue 2 火・2	★Japan and Asia 1	2	Taihei OKADA 岡田 泰平	Prometheus Hall at Agora Global	
5	9495	Tue 4 火・4	Japanese society and religion 日本の社会と宗教	2	Kikuko HIRAFUJI 平藤 喜久子	328	*
6	9496	Tue 5 火・5	Religious culture in contemporary Japan 現代日本の宗教文化	2	Kikuko HIRAFUJI 平藤 喜久子	306	*
7	9494	Wed 4 水・4	The role of ukiyo-e (Japanese woodblock prints) as an information medium メディアとしての浮世絵	2	Akane FUJISAWA 藤澤 茜	113	*
8	9456	Wed 5 水・5	Aspects of Japanese Grammar from the Pedagogical Viewpoint/日本語文法の諸相 -日本語教育文法として	2	Tetsuya KUSUMOTO 楠本 徹也	326	*
9	9468	Thu 4 木・4	Japanese Youth and Popular Culture	2	Sachiko HORIGUCHI 堀口 佐知子	331	
10	9464	Thu 5 木・5	Japanese Society and Culture from an Anthropological Perspective	2	Sachiko HORIGUCHI 堀口 佐知子	218	
11	9481	Thu 5 木・5	Introduction to Japanese Traditional Culture	2	Tamami FURUSE 古瀬 珠水	227	
12	9462	Fri 4 金・4	Introduction to Japanese Politics	2	Mir Monzurul Huq ハック	Project Space at Agora Global	
13	9463	Fri 4 金・4	Japanese Film in comparative Perspective	2	Akito OKADA 岡田 昭人	103	
14	9482	Fri 5 金・5	Media and Social Changes 1	2	Mir Monzurul Huq ハック	211	
15	7068	Intensive 集中	★★Topics of Contemporary Japan	2	Kaoru AOYAMA 青山 薫	TBA	

Note: Most Classes are conducted in English. Those marked with "\*" are conducted in Japanese.

これらの授業は、英語で行われます。ただし、\*の授業は日本語で行われます。

Stars represent the course level. 星印は授業のレベルを表しています。

**秋学期/Fall Semester**

NO	Code/履修コード	Period/時限	Title/科目名	Credits/単位数	Instructor/教員	Room No./教室	Remarks備考
1		Mon 2 月・2	★Comparative Literature – Seminar	2	ZOPPETTI		
2		Mon 3 月・3	★★Japanese Politics	2	SUGINOHARA		
3		Mon 4 月・4	★Modern Japanese Culture and Society from the Perspective of Popular History	2	TOMOTSUNE		
4		Mon 5 月・5	Japanese Mythology	2	MATSUMURA		
5		Tue 4 火・4	Japanese Grammar with Comparative Perspectives from English	2	MOCHIZUKI		
6		Tue 5 火・5	Japanese Modern History	2	MIDDLETON		
7		Tue 5 火・5	Introduction of Japanese Mythology 日本神話の世界	2	HIRAFUJI		
8		Fri 2 金・2	Ukiyo-e(Japanese woodblock prints) and Edo culture/浮世絵と江戸文化	2	FUJISAWA		
9		Fri 4 金・4	Speech Communication	2	OKADA		
10		Fri 4 金・4	Topics of Contemporary Japan	2	Mir Monzurul Huq		
11		Fri 5 金・5	Introduction to Japanese Classical Literature	2	SUGANAGA		
12		Fri 5 金・5	Kabuki as traditional Japanese Performing art/伝統芸能としての歌舞伎	2	FUJISAWA		
13		Intensive 集中	★Media and Politics in Japan	2	MOTOHASHI		

This schedule is subject to change.

9459	International Studies	2 Credits						
War and Journalism (conducted in English) (戦争と報道)								
Kazuo ABIKO 我孫子 和夫		Spring Friday/5 <sup>th</sup>						
<p><b>Course Objectives</b></p> <p>This course is to examine how wars and international conflicts have been covered by news media, what issues they faced in reporting wars and international conflicts, and what role they play in shaping the public opinion. This is not necessarily a journalism course but rather intended to assist students to acquire a historical knowledge on the role of news media at times of war and international conflict.</p> <p><b>Course Content</b></p> <p>This course will focus on specific wars and international conflicts. While examining their news coverage, the fundamental role of news media will be discussed. Lectures and discussions.</p> <p><b>Course Schedule</b></p> <p>This is a tentative schedule and the topics may be changed, based on students' interest.          Session 1 : An Overview: Basic Issues and the Flow of International News          Session 2 : U.S. Civil War and Spanish-American War          Session 3 : World War I          Session 4 : World War II          Session 5 : World War II and Japanese Media          Session 6 : Korean War          Session 7 : Cold War          Session 8 : Vietnam War 1          Session 9 : Vietnam War 2          Session 10 : Mid-Term Essay or Presentation          Session 11 : Africa and Middle East Conflicts          Session 12 : Gulf War          Session 13 : "War on Terror"          Session 14 : Wrapup Session          Session 15 : Term Paper Submission</p> <p><b>Evaluation</b></p> <table> <tr> <td>Class participation</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>Mid-term essay or presentation</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>Final Examination/Essay</td> <td>40%</td> </tr> </table> <p><b>Notice</b></p> <p>Students, who wish to take this course, will be encouraged to take part in discussions in the class. It will be an important part of this course to exchange views with other students, in order to deepen their understanding of the issues presented by the instructor. At some time during this course, students may be asked to pick up some news reporting on international conflicts and write a brief report or make group presentations for class discussions, depending on the size of the class.</p> <p><b>Textbooks and Materials</b></p> <p>Printed materials will be distributed in the beginning of class sessions.</p> <p>"Breaking News: How The Associated Press Has Covered War, Peace and Everything Else" by The Associated Press (Princeton Architectural Press, 2007)</p>			Class participation	30%	Mid-term essay or presentation	30%	Final Examination/Essay	40%
Class participation	30%							
Mid-term essay or presentation	30%							
Final Examination/Essay	40%							

"The Power of News: The History of Reuters" by Donald Read (Oxford University Press, 1992)		
"Live From the Battlefield" by Peter Arnett (Simon & Shuster, 1994; Touchstone, 2007)		
*"Hotel Warriors: Covering the Gulf War" by John J. Fialka (The Johns Hopkins University Press, 1991)		
"War on Terror" by Norm Chomsky, Amnesty International Annual Lecture hosted by Trinity College, January 18, 2006.		
「新聞と戦争」朝日新聞『戦争と報道』取材班 (朝日新聞出版, 2008年)		
"Journalism's Roving Eye: A History of American Newsgathering Abroad" by John Maxwell Hamilton (Louisiana State University Press, 2009)		
"The Associated Press Guide to News Writing: The Resource for Professional Journalists" by Rene J. Cappon (ARCO/Thomson Learning, 2000)		

9461	Japan Studies	2 Credits
Japanese Religions (conducted in English) (日本宗教)		
Kazuo MATSUMURA 松村 一男		Spring Monday/5 <sup>th</sup>
<p><b>Course Objectives</b></p> <p>This course aims to provide general information about religious situations of Japan from the Jomon period down to the present era. Starting from the Jomon clay figurines, we look at Shinto, Buddhism, Mountain religions, and New religions in order to acknowledge the importance of religions in Japanese culture.</p> <p><b>Course Content</b></p> <p>Through the study of various historical changes in Japanese religions, students are asked to present a paper on a specific theme at the end of the term.</p> <p><b>Course Schedule</b></p> <p>Session 1 : General Introduction          Session 2 : Geography and Religion          Session 3 : Historical Relations with Other Countries          Session 4 : Historical Changes          Session 5 : Main Features of Japanese Religions          Session 6 : Emperor and Religion          Session 7 : Basic Cosmology          Session 8 : City Planning          Session 9 : Mountain Religion          Session 10 : The Power of Women          Session 11 : Popular Beliefs          Session 12 : Variety of Religions          Session 13 : Contemporary Religious Situation          Session 14 : Religious Education          Session 15 : Importance of Religions in Japanese Culture</p>		

## Evaluation

Attendance and Class Participation 60%  
Term Paper 40%

## Notice

Students are expected to have good command of English.

## Textbooks and Materials

Prints of various articles will be provided in the class.

9462	Japan Studies	2 Credits
Introduction to Japanese Politics (conducted in English)		
Mir Monzurul Huq ハック、ミール・モンズルール		Spring Friday/4 <sup>th</sup>

## Course Objectives

The course is intended to train students (1) to develop an understanding of the political system of Japan; (2) to guide them to acquire in-depth knowledge of the functioning of various organs that play key role in making a democratic political system meaningful; and (3) to develop their analytical skill by arousing their interest in comparative studies of similarities and differences of the political process of Japan and other democratic societies.

## Course Content

The course will look at various aspects of Japanese political system, ranging from the constitution of the country to the functioning of local governments and various pressure groups.

## Course Schedule

### Session 1

The Post War II Japanese politics: a brief outline

Reading list:

1. Ian Buruma, "Inventing Japan," (The Modern Library, New York, 2003), Chapter 7: 1955 and all that, and Epilogue: The End of the Post-War, pp. 155-177.

### Session 2

The constitution of Japan and the constitutional governance

Reading list:

1. The Constitution of Japan, official website of the National Diet Library, [www.ndl.go.jp/constitution/e](http://www.ndl.go.jp/constitution/e)

### Session 3

Parliament and its operations

Reading list:

1. Edwin O. Reischauer, "The Japanese," (The Belknap Press, Massachusetts and London, 1981), Chapter 25: The Diet, pp. 249-256.

### Session 4

Cabinet and bureaucracy

Reading list:

1. Kishimoto Koichi, "Politics of Modern Japan," Chapter 5: The Cabinet and the Bureaucracy, pp. 78-100.

### Session 5

Election and the electoral system

Reading list:

1. Edwin O. Reischauer, "The Japanese," Chapter 27: Electoral Politics, pp. 268-275.

### Session 6

Political Parties

Reading list:

1. Takashi Inoguchi, "Japanese Politics: An Introduction," (Trans Pacific Press, Melbourne, 2005), Chapter 5: One party dominance and political hollowing-out, pp. 90-112.
2. Kishimoto Koichi, "Politics of Modern Japan," Chapter 7: Political parties, pp. 116-154.

### Session 7

Local governments and grass-root democracy in Japan

Reading list:

1. Local Government in Japan, official website of the Council of Local Authorities for International Relations, [www.jlrc.org/en](http://www.jlrc.org/en)

### Session 8

Pressure groups in Japanese politics

Reading list:

1. Nippon Keidanren: major activities, official website of Japan Business Federation, [www.keidanren.or.jp/english/profile](http://www.keidanren.or.jp/english/profile)
2. Role and function of the Japanese Trade Union Confederation RENGO, official website of RENGO, [www.jtuc-rengo.org/about](http://www.jtuc-rengo.org/about)

### Session 9

Civil Society and social policy

Reading list:

1. Routledge Handbook of Japanese Politics (Routledge, October 2010), Part 2 and Part 3.

### Session 10

Emergence of the 1955 setup and rise of a stable conservative majority

Reading List:

1. Changing Japanese Politics, About Japan Series 24 (Foreign Press Center, Japan, 2003), Introduction, pp. 7-11.

### Session 11

Demise of the old system: Japanese politics since early 1990s

Reading list:

1. J. A. A. Stockwin, "Governing Japan," Chapter 6: Demise of the old system, groping towards the new, pp. 70-92.

### Session 12

Japan's foreign policy

Reading list:

1. J. A. A. Stockwin, "Governing Japan," Chapter 12: Foreign policy and defense, pp. 202-217.
2. Diplomatic Bluebook, the latest edition available at the Internet web page of the Ministry of Foreign Affairs, [www.mofa.go.jp](http://www.mofa.go.jp)

### Session 13

Japan's rising military strength and relations with neighbors

Reading list:



<p>1. Defense of Japan, the latest edition of the White Paper of the Ministry of Defense Agency, chapter related to The Basic Concept of Japan's Defense Policy, <a href="http://www.mod.go.jp/publication/">www.mod.go.jp/publication/</a></p>		
<p>Session 14 The present scenario: Rise and fall of DPJ and re-emergence of LDP - changing trends in Japanese politics.</p>		
<p>Session 15 Final examination</p>		
<p><b><u>Evaluation</u></b></p> <p>Students will be assessed by the following method:</p> <p>1. Active class participation.....10%</p> <p>2. Essay or presentation on a chosen topic.....30%</p> <p>3. Final Examination.....60%</p>		
<p><b><u>Notice</u></b></p> <p>Students, who wish to take the course, should note that the course is structured around lectures and seminars. There will be one 90-minute lecture/seminar each week unless otherwise stated. First 60 minutes of each session will consist of the lecture part, which will be followed by a 30-minute class discussion where students' participation in week's topic will be regarded as an essential per-requisite of the course.</p> <p>Students are also expected to make a group or individual presentation on a chosen topic related to the course. Students who fail to attend more than three classes will not qualify to sit for the final examination without evidence of extraneous circumstances.</p>		
<p><b><u>Textbooks and Materials</u></b></p> <p>No single textbook will be followed throughout the course. Students are highly recommended to use the following books as basic source material:</p> <p>1. J. A. A. Stockwin, <i>Governing Japan</i>, third edition (Blackwell Publisher, Oxford and Massachusetts, 1999).</p> <p>2. Takashi Inoguchi, <i>Japanese Politics: An Introduction</i> (Trans Pacific Press, Melbourne, 2005)</p> <p>3. Kishimoto Koichi, <i>Politics in Modern Japan: Development and Organization</i> (Japan Echo Inc. Tokyo, 1997)</p> <p>4. <i>Routledge Handbook of Japanese Politics</i> (Routledge, October 2010)</p>		

9463	Japan Studies	2 Credits
<p>Japanese Film in Comparative Perspective (conducted in English)</p> <p>(比較日本映像論)</p>		
Akito OKADA 岡田 昭人		Spring Friday/4 <sup>th</sup>
<p><b><u>Course Objectives</u></b></p> <p>Major aspects of the development of post-war Japanese cinema are explored through an examination of various noted films. The relation of</p>		

<p>sound music, editing, camera angle, etc. in constructing a director's aesthetic will be considered. In several cases comparisons will be made between the original text and the film version. In addition, the social and cultural significance of various films and their relation to national and international film history will also be introduced.</p>		
<p><b><u>Course Content</u></b></p> <p>This course is structured around lectures and seminars 90 min. once a week unless stated otherwise in the syllabus.</p>		
<p><b><u>Course Schedule</u></b></p> <p>Session 1 : Introduction          Session 2 : Discussion for students' presentation          Session 3 : Discussion for making movie          Session 4 : feedback &amp; comments for each group          Session 5 : Group Presentation I          Session 6 : Group Presentation II          Session 7 : Group Presentation III          Session 8 : Group Presentation IV          Session 9 : Group Presentation V          Session 10 : Group Presentation VI          Session 11 : Group Presentation VII          Session 12 : Group Presentation VIII          Session 13 : Final Presentation I          Session 14 : Final Presentation II          Session 15 : Final Presentation III</p>		
<p><b><u>Evaluation</u></b></p> <p>1. Weekly assignments 20%</p> <p>2. Discussion participation 20%</p> <p>3. Students' presentation 30%</p> <p>4. Final assignment 30%</p>		
<p><b><u>Notice</u></b></p> <p>Students who fail to attend more than three classes in a row will not be allowed to submit the final assignment without a reliable evidence of extraneous circumstances.</p>		
<p><b><u>Textbooks and Materials</u></b></p> <p>Printed materials will be distributed at the lectures along with a list of recommended literature for home reading.</p>		

9464	Japan Studies	2 Credits
<p>Japanese Society and Culture from an Anthropological Perspective (conducted in English)</p> <p>(外からみた日本文化・社会 : 人類学的観点から)</p>		
Sachiko HORIGUCHI 堀口 佐知子		Spring Thursday/5 <sup>th</sup>
<p><b><u>Course Objectives</u></b></p> <p>The objective of this course is to provide an introduction to Japanese society and culture from an anthropological perspective. Students are expected to relate their readings with everyday experiences throughout the course.</p>		



By the end of the course, students will be able to critically engage in English language scholarship on Japanese society and culture, and will have a nuanced understanding of Japanese society and culture.

### **Course Content**

Various aspects of Japanese society and culture will be explored by critically examining academic and non-academic texts on Japan.

### **Course Schedule**

The following course schedule is tentative and subject to change depending on the participants of the course. Most sessions will involve discussions of the assigned readings and fieldwork, as well as presentations.

- Session 1: Introduction of the course, images & representations of Japan (1)
- Session 2: Anthropological fieldwork, images & representations of Japan (2)
- Session 3: Discourses on Japanese uniqueness & critiques
- Session 4: Cultures & politics of language
- Session 5: Family, presentation
- Session 6: Early socialization (1)(FW1), presentation
- Session 7: Education (FW 2), presentation
- Session 8: Work (FW 3), presentation
- Session 9: Gender & sexuality, presentation
- Session 10: Religion, presentation
- Session 11: Health/ end of life, presentation
- Session 12: Early socialization (2)(video)
- Session 13: Food culture, presentation
- Session 14: Ethnic diversity, presentation
- Session 15: Summing up

### **Evaluation**

- Active class participation (including reflections on presentations) 30%
- Reading notes (checked in 9 sessions) & viewing note (checked in 1 session) 20%
- Introductory essay (5%) & 3 fieldwork assignments (15%) 20%
- Group presentation (20%) & an individual paper based on the presentation (10%) 30%

### **Notice**

The number of students to be accepted in this class will be up to 40, so students who are interested in the course must all attend the first class in order to be eligible for a possible student selection. Student selection will be done based on a lottery to be conducted in the first class, but priority will be given to foreign students and students in senior years. Every student should submit a 500-word self-introductory essay outlining 3 topics he/she wants to make a presentation on with reasons by the 4th session. As for assignments you may have missed due to late registration, it is your responsibility to submit them by the 6th session.

Students must prepare reading notes on assigned readings (articles/ chapters) prior to class. They will also use a significant time outside class in preparation for a group presentation on a topic of their choice, as well as writing a paper on the presentation topic after the presentation. They will also be expected to have fieldwork assignments done for some of the classes.

### **Textbooks and Materials**

Instructions about readings will be made in class by the instructor.

9468	Japan Studies	2 Credits
Japanese Youth and Popular Culture (conducted in English) (日本の若者&ポピュラーカルチャー)		
Sachiko HORIGUCHI 堀口 佐知子		Spring Thursday/4 <sup>th</sup>

### **Course Objectives**

The aim of this course is to examine various aspects of Japanese youth and popular culture, which have attracted global/local attention, from an anthropological perspective. Students should relate their readings with everyday experiences throughout the course.

By the end of the course, students will be able to critically engage with English language scholarship on Japanese youth and popular culture, and will have a nuanced understanding of key aspects of Japanese youth and popular culture.

### **Course Content**

We will critically examine works on youth and popular culture.

### **Course Schedule**

The following course schedule is tentative and subject to change depending on the participants of the course. Most sessions will involve a discussions of reading(s) & fieldwork (FW) as well as presentations.

- Session 1 Introduction: The anthropological perspective
- Session 2 Making sense of youth cultures from anthropological perspective
- Session 3 Case study of hikikomori (youth social withdrawal) research (1)
- Session 4 Case study of hikikomori (youth social withdrawal) research (2) (FW1)
- Session 5 A historical examination of otaku subculture (presentation)
- Session 6 'Cool Japan' & the global attraction of Japanese popular culture (presentation)
- Session 7 Japanese adolescents, family, school, & friendship (presentation) (FW2)
- Session 8 Gender & the body: beauty, fashion, & body image (presentation)
- Session 9 Gender & the body sports & socialization (presentation)
- Session 10 Gender & the body: sexuality (presentation)
- Session 11 Japanese music, fandom, & globalization (presentation)
- Session 12 Media technologies & Japanese youth identities (presentation) (FW3)
- Session 13 Japanese youth, class, and labor (1)
- Session 14 Japanese youth, class, & labor (2)

(presentation)  
Session 15 Summing up

**Evaluation**

Active class participation (including reflections on presentations) 30%  
Reading notes (checked in 10 sessions) 20%  
Introductory essay (5%) & 3 fieldwork assignments (15%) 20%  
Group presentation (20%) & an individual paper based on the presentation (10%) 30%

**Notice**

The number of students to be accepted in this class will be up to 40, so students who are interested in the course must all attend the first class in order to be eligible for a possible student selection. Student selection will be done based on a lottery to be conducted in the first class, but priority will be given to foreign students and students in senior years. Every student should submit a 500-word self-introductory essay outlining 3 topics he/she wants to make a presentation on with reasons by the 4th session. As for assignments early on in the semester that you may have missed due to late registration, it is your responsibility to submit them by the 6th session.

Students must prepare reading notes on assigned readings (articles/ chapters) prior to class. They will also use a significant time outside class in preparation for a group presentation on a topic of their choice, as well as writing a paper on the presentation topic after the presentation. They will also be expected to have fieldwork assignments done for some of the classes.

**Textbooks and Materials**

Instructions about readings will be made in class by the instructor.

9469	International Studies	2 Credits
Language and Society (conducted in English) (言語と社会 (講義))		
Norie YAZU 矢頭 典枝		Spring Friday/5 <sup>th</sup>
<b><u>Course Objectives</u></b> This course is designed for students (non-native speakers of English) who wish to study Sociolinguistics in English. The objective of this course is to learn about the wide range of topics dealt in the field of Sociolinguistics.		
<b><u>Course Content</u></b> Main topics covered in this course include language variation, bilingualism and language policy.		
<b><u>Course Schedule</u></b> Session 1 : Introduction Session 2 : What is Sociolinguistics?		

Session 3 : Regional varieties of English (1) Difference between American English and British English  
Session 4 : (2) Regional varieties of English in the USA and the UK  
Session 5 : (3) Canadian English, Australian English, Singaporean English...etc.  
Session 6 : Ethnic varieties of English - African American Vernacular English...etc.  
Session 7 : Social varieties of English, varieties by gender and age  
Session 8 : Bilingualism (1) Who is a bilingual? (2) Types of bilinguals  
Session 9 : Language choice in multilingual communities (1) Domains and Diglossia (2) Code-switching  
Session 10 : Language maintenance and language shift  
Session 11 : Vernacular, and standard language (variety) and lingua francas  
Session 12 : Pidgins and creoles  
Session 13 : Language Policy (1) Languages and Dialects (2) Definition of "official language" and "national language"  
Session 14 : (3) Official languages and national languages of the world  
Session 15 : (4) Language Policy of Canada

**Evaluation**

Grades will be based on a term-end paper (60%) and active participation in class (40%).

**Notice**

All sessions in this course will be conducted in English.

**Textbooks and Materials**

Reading material will be distributed along with some other handouts.

9470	International Studies	2 Credits
Language and Globalization (conducted in English)		
Kazuhiko YOSHIDA 吉田 一彦		Spring Friday/2 <sup>nd</sup>
<b><u>Course Objectives</u></b> The class can be a culture contact. We will develop skills of using several languages to seek mutual understanding between people of different social/cultural background. Throughout the course we will learn some effective measures to improve proficiency in foreign languages we learn.		
<b><u>Course Content</u></b> Using concepts of linguistics and performing activities to discover formal/functional aspects of languages and human communication with interests in native and foreign languages/dialects.		
<b><u>Course Schedule</u></b> Considering class size and participants' interests, some minor changes could be done to the schedule. Session 1 : Guidance Session 2 : Rethinking and discovering native		

<p>tongue(s) 1 - Parallel texts          Session 3 : Rethinking and discovering native tongue(s) 2 - Learning neighbours' mother tongue          Session 4 : On phonological systems          Session 5 : On distinctive features          Session 6 : Making simple dialogues          Session 7 : Performing dialogues          Session 8 : On gender, grammatical number and etc.          Session 9 : On word order          Session 10 : On semantic field          Session 11 : On metaphor          Session 12 : On idiomatic expressions          Session 13 : On proverbs          Session 14 : On neologism and youth dialect          Session 15 : Review activities</p> <p><b><u>Evaluation</u></b>          Evaluating tasks given in every class (100%) Good English skills do not necessarily lead a participant to a good grade.</p> <p><b><u>Notice</u></b>          Those students who do not attend the class in the first week without any unavoidable reasons will not be allowed to register the name in the course. Knowledge in phonetics is useful, so students are encouraged to take classes in phonetics. In classroom communication priority is given to understanding rather than correctness of grammar or pronunciation. Have fun with works with people of different cultural/social backgrounds.</p> <p><b><u>Textbooks and Materials</u></b>          No textbook or material to be purchased. A reading material including concepts, examples and hints will be given with an instruction in advance. Students are supposed to read it at home as a preparation for classroom activities.</p>
---

<p>Session 4 : Equivalence          Session 5 : The functionalist approach          Session 6 : Norms in translation          Session 7 : Technology and translation          Session 8 : Translation research in Japan          Session 9 : History of interpreting          Session 10 : Interpreting Studies as a subdiscipline of Translation Studies          Session 11 : Cognitive aspects of interpreting          Session 12 : Sociocultural aspects of interpreting          Session 13 : Interpreting research in Japan          Session 14 : Trends and future directions in Translation Studies          Session 15 : Summary</p> <p><b><u>Evaluation</u></b>          Final report: 60%          Participation in class discussions: 40%</p> <p><b><u>Notice</u></b>          Students are expected to come to class, fully prepared by having read the assigned articles. Ask a lot of questions. There is no such thing as a stupid question in this course. The sequence of the course schedule may change depending on the specific needs and interests of the students.</p> <p><b><u>Textbooks and Materials</u></b>          No purchase is required, but students are strongly recommended to read the following essential texts:          Munday, J. (2008). <i>Introducing Translation Studies</i>. London &amp; New York: Routledge.          Pöchhacker, F. (2004). <i>Introducing Interpreting Studies</i>. London &amp; New York: Routledge.          Pym, A. (2010). <i>Exploring Translation Theories</i>. London &amp; New York: Routledge.</p>
---

9472	International Studies	2 Credits
<p>Translation Studies (conducted in English)          (翻訳通訳学 (講義))</p>		
<p>Kayoko TAKEDA          武田 珂代子</p>		<p>Spring          Wednesday/5<sup>th</sup></p>
<p><b><u>Course Objectives</u></b>          To understand the view of translating and interpreting as a mediating act in intercultural communication.          To become familiar with the main concepts, theories, and research concerns in the field of translation and interpreting studies.</p> <p><b><u>Course Content</u></b>          This introductory course prepares students to discuss translation and interpreting as an object of academic inquiry. Students are expected to complete reading assignments and a final report.</p> <p><b><u>Course Schedule</u></b>          Session 1 : Introduction          Session 2 : What is translation/interpreting?          Session 3 : Translation Studies as an academic discipline</p>		

9474	Japan Studies	2 Credits
<p>Comparative Literature (conducted in English)          (比較文学論)</p>		
<p>David ZOPPETTI          デビット・ゾペティ</p>		<p>Spring          Monday/2<sup>nd</sup></p>
<p><b><u>Course Objectives</u></b>          ネイティブの講師による英語の講義や実演についていだけの英語力(聴解力, 話す力及び書く力)を身につけると共に, 比較文学全般に関する知識を深めることを目標とする。</p> <p><b><u>Course Content</u></b>          日本語で執筆活動するスイス人小説家デビット・ゾペティは英語で Comparative Literature や文学創作について語る。一般の小説やテクニスト, 映画や講師の作品等を参考に Comparative Literature の世界に迫る。</p> <p><b><u>Course Schedule</u></b>          1 学期 (講義中心。適宜, 変更あり)          Session 1 : 前期オリエンテーション          Session 2 : Comparative Literature : 概要 1          Session 3 : Comparative Literature : 概要 2          Session 4 : Curriculum Vitae の書き方について          Session 5 : Frankenstein 比較研究・映画前半上映</p>		

Session 6 : Frankenstein 映画後半上映・研究ノート
Session 7 : Parody の研究 - The Young Frankenstein 映画前半上映
Session 8 : The Young Frankenstein 映画後半上映 - Parody に関する議論
Session 9 : Heart of Darkness 概要 - Apocalypse Now 映画前半上映
Session 10 : Apocalypse Now 映画後半上映 - 小説 vs. 映画比較論
Session 11 : 「いちげんさん」 文学的創作概要 - 原文と英訳比較研究 1 (意訳と相違)
Session 12 : 「いちげんさん」 原文と英訳比較研究 2 (日本の概念の翻訳論)
Session 13 : 「いちげんさん」 映画化の脚本研究 - 映画前半上映
Session 14 : 「いちげんさん」 映画後半上映 - 小説 vs. 映画比較論
Session 15 : 前期期末試験
<b>Evaluation</b>
①受講時の平常点 = 55% ②期末試験 = 45%
<b>Notice</b>
授業への貢献度を重視する。課題図書の徹底した読書を求める。20分以上の遅刻・早退は欠席扱いとなる。欠席が5回を超えた場合は、評価の対象としない。受講者数制限有り。
<b>Textbooks and Materials</b>
『いちげんさん』 デビット・ゾペティ著 'ICHIGENSA - THE NEWCOMER' Translation by Takuma Sminkey

9476	International Studies	2 Credits
Literature and Music (conducted in English)		
(Music and Literature: Songs, Composers, Poems & Poets)		
Steven MORGAN モーガン		Spring Monday/6 <sup>th</sup>
<b>Course Objectives</b>		
The objective of this course is to explore the fascinating interplay between literature and music, particularly in how composers across the centuries have found effective and expressive ways to set poetry to music. We will look at folksongs, art songs, choral works and pop songs from various countries and centuries and in various languages including English, German, French, Italian, Latin and Hebrew.		
<b>Course Content</b>		
The basic format will be that of a standard university lecture with a 15 minute question and answer time at the end.		
<b>Course Schedule</b>		
Topics will include such things as the following:		
<ul style="list-style-type: none"> <li>* The Italian Madrigal</li> <li>* Monody and the birth of opera</li> <li>* The English Madrigal and lute song</li> <li>* The operas of Henry Purcell</li> <li>* Mozart and his librettists</li> </ul>		

<ul style="list-style-type: none"> <li>* The church cantatas of J. S. Bach</li> <li>* The oratorios of Handel, Haydn and Mendelssohn</li> <li>* The songs of Schubert, Schumann and Brahms</li> <li>* The chansons of Fauré, Debussy and Ravel</li> <li>* Folksongs from many countries</li> <li>* The songs of Cole Porter, George Gershwin and Irving Berlin</li> <li>* The lyrics and music of John Lennon</li> <li>* Choral music in the 20th and 21st century</li> <li>* The composer at work: music by S. G. Morgan</li> </ul>
<b>Evaluation</b>
Active participation in lectures and discussions 30%
Quizzes 40% (4 quizzes worth 10% each)
Final exam 30%
<b>Notice</b>
Please have a notebook set aside for this class that can hold your lecture notes as well as class handouts.
<b>Textbooks and Materials</b>
No text is required, however a suggested supplemental reading list will be distributed in class. Individual articles will be distributed for outside reading from time to time.

9481	Japan Studies	2 Credits
Introduction to Japanese Traditional Culture (conducted in English)		
(概論 日本の伝統文化 (E))		
Tamami FURUSE 古瀬 珠水		Spring Thursday/5 <sup>th</sup>
<b>Course Objectives</b>		
This course aims to give students an opportunity to study Japanese traditional art including historical, religious and social aspects. Learning own culture in a different language, students recognize its high quality and great value which were created by the Japanese in the past. Students are expected to communicate in English in the classroom.		
<b>Course Content</b>		
I will give lectures showing many pictures of art pieces. Students will discuss on topics which related to the subjects provided in the class.		
<b>Course Schedule</b>		
Session 1 : Course introduction		
Session 2 : Jomon and Yayoi Culture		
Session 3 : Pre-Buddhist and Early Buddhist Culture		
Session 4 : Art of Shoso-in		
Session 5 : Aristocratic Art in Heian Period		
Session 6 : Art in Kamakura and Muromachi Period		
Session 7 : Zen Gardens and Ink Painting		
Session 8 : Painting School in Momoyama Period		
Session 9 : Secular Painting and Ukiyoe in Edo Period		
Session 10 : Art of Tea Ceremony (1)		
Session 11 : Art of Tea Ceremony (2)		
Session 12 : Culture of Zen		
Session 13 : Pre-modern and Westernization		
Session 14 : Japanese Manners and Behaviors		
Session 15 : Summary		



## Evaluation

Active participation in class(30%)  
Short quiz(30%)  
Term paper(40%)

## Notice

This course accepts 50 students. If more than 51 students attend the first class, we will choose 50 students based on a lottery.

## Textbooks and Materials

Reference:

Paine and Soper, The Art and Architecture of Japan  
Takaaki Sawa ; Art in Japanese Esoteric Buddhism  
Ryoichi Hayashi ;The Silk Road and the Shoso-in  
辻椎雄 『日本美術の歴史』, 『日本美術史』『原色日本の美術』(小学館)

9482	Japan Studies	2 Credits
Media and Social Changes 1 (conducted in English) (Media and politics in Japan)		
Mir Monzurul Huq ハック、ミール・モンズルール	Spring Friday/5 <sup>th</sup>	

## Course Objectives

The course is intended to train students (1) to develop an understanding of the major characteristics of the Japanese media; (2) to become familiar with the role media are playing in the democratic political structure of Japan; and (3) to develop students' analytical skill by focusing on and comparing similarities and differences between the media in Japan and in other countries.

## Course Content

The course will look at major factors that place the Japanese media at the forefront of political and social activities of the country.

## Course Schedule

### Session 1

Politics and News Media: a Brief Introduction  
Reading List

1. Noam Chomsky, Media Control: The Spectacular Achievement of Propaganda, (Seven Stories Press, New York, 2002) pp. 9-65.

### Session 2

Origins of Japanese Mass Media  
Reading List

1. Albert A. Altman, "Shimbunshi: the Early Meiji Adaptation of the Western-Style Newspaper," in W. G. Beasley (Ed.), Modern Japan: Aspects of History, Literature & Society (University of California Press, Berkeley and Los Angeles, 1977), pp. 52-66.

### Session 3

Media and Politics in Japan: Historical Perspective  
Reading List

1. Gregory J. Kasza, The State and Mass Media in Japan, 1918-1945 (University of California Press,

Berkeley, Los Angeles and London, 1988), Chapter 1, Part 1: Early Meiji Press Policy, 1868-1889, pp. 3-7

### Session 4

Media and Politics in Japan: Contemporary Perspective  
Reading List

1. Adam Gamble & Takesato Watanabe, A Public Betrayed: An Inside Look at Japanese Media Atrocities (Regnery Publishing, Inc., Washington DC, 2004), Chapter 2: Japan's corrupt news media, pp. 33-66.

### Session 5

Post World War II Japanese Media: the Print Form  
Reading List

1. "The Newspaper Industry," in the booklet About Japan, Series 7: Japan's Mass Media (Foreign Press Center, Japan, 2004), pp. 15-46.

### Session 6

Post World War II Japanese Media: the Electronic Form  
Reading List

1. Chapter IV. "Broadcasting," in About Japan, Series 7: Japan's Mass Media (Foreign Press Center, Japan, 2004), pp. 52-68.

### Session 7

Media-Government Relationship in Japan  
Reading List

1. Ofer Feldman, Politics and the News Media in Japan (The University of Michigan Press, 1993), Chapter 2: The Media-Government Relationship in Japan, pp. 9-30.

### Session 8

Mass Media as Business Organizations and Public Attitude Towards Media in Japan  
Reading List

1. D. Eleanor Westney, "Mass Media as Business Organizations: A US-Japanese Comparison," in Susan J. Pharr and Ellis S. Krauss (eds.) Media and Politics in Japan (University of Hawaii Press, Honolulu, 1996) pp. 47-88.  
2. Joe Joseph, The Japanese: Strange But Not Strangers (Viking, London, 1993), Chapter 6: If the Media are the Message, the Wires Must be Crossed, pp. 104-126.

### Session 9

NHK: Japan's Public Broadcasting Network  
Reading List

1. Ellis S. Krauss, Broadcasting Politics in Japan: NHK and Television News (Cornell University Press, Ithaca and London, 2000); Chapter 1: NHK and Broadcasting Politics, pp. 1-20.

### Session 10

Freedom of Expression and Rules and Guidelines for the Media  
Reading List

1. Laurie Anne Freeman, Closing the Shop (Princeton University Press, Princeton, New Jersey, 2000) Chapter Four: Japan's Information Cartels, pp. 102-141.

### Session 11

The Tradition of Self-Censorship in Japan and the changes initiated by the new DPJ government

<p>Reading List 1. Karel van Wolferen, <i>The Enigma of Japanese Power</i> (Macmillan, London, 1989), "The House-broken Press," pp. 93-100.</p> <p>Session 12 Japanese Media in the Age of Digital Technology Reading List 1. Chapter VI. "Online Media" in <i>About Japan Series 7: Japan's Mass Media</i> (Foreign Press Center, Japan, 2004), pp. 79-89.</p> <p>Session 13 Media and Politics in Japan: an overview No specific reading list for the session as the overview would touch most of the issues discussed during the whole course.</p> <p>Session 14 Free Discussion The session will look back at topics that students might want to discuss before they sit for the exam.</p> <p>Session 15 Final Examination</p> <p><b><u>Evaluation</u></b> Students will be assessed by the following method: 1. Active class participation.....10% 2. Presentation on a chosen topic.....30% 3. Final Examination.....60%</p> <p><b><u>Notice</u></b> Students, who wish to take this course, should note that the course is structured around lectures and seminars. There will be one 90-minute lecture/seminar each week unless otherwise stated. First 60 minutes of each session will consist of lecture part, which will be followed by a 30-minute class discussion where students' participation in week's topic will be regarded as an essential per-requisite of the course. Students are also required to make one individual or group presentation during the course on a chosen topic. Students who fail to attend more than three classes and do not make class presentation will not qualify to sit for the final examination without evidence of extraneous circumstances.</p> <p><b><u>Textbooks and Materials</u></b> No single textbook will be followed throughout the course. Students are highly recommended to use the following three books as basic source material: 1. Susan J. Pharr and Ellis S. Krauss (Ed.), <i>Media and Politics in Japan</i> (University of Hawaii Press, Honolulu, 1996). 2. William de Lange, <i>A History of Japanese Journalism</i> (Japan Library, Curzon Press Ltd, Surrey, England, 1998). 3. Laurie Anne Freeman, <i>Closing the Shop: Information Cartels and Japan's Mass Media</i> (Princeton University Press, Princeton, New Jersey, 2000).</p>
--

9485	International Studies	2 Credits
<p><b>Second Language Acquisition (conducted in English)</b> (ことばとコミュニケーション A)</p>		
<p>Eric HAUSER ハウザー</p>		<p>Spring Thursday/6<sup>th</sup></p>
<p><b><u>Course Objectives</u></b> There are two objectives. One is to gain a broad and current understanding of research and theory in the field of second language acquisition (SLA). The other is to develop ability to understand and use academic English.</p>		
<p><b><u>Course Content</u></b> As this is an introductory course, it will cover a broad range of topics in SLA. Students will learn about these through readings and lectures and will be tested on what they have learned.</p>		
<p><b><u>Course Schedule</u></b> This schedule is subject to change.</p> <p>Session 1 : Course introduction Session 2 : Introduction to SLA Session 3 : Influence from the first (or other) language on SLA Session 4 : Influence from the first (or other) language on SLA Session 5 : Influence from the environment on SLA; model answer to exam question Session 6 : Influence from the environment on SLA Session 7 : Cognition; first exam due Session 8 : Learner language Session 9 : Learner language Session 10 : Individual differences (aptitude, motivation, affect) Session 11 : Individual differences (aptitude, motivation, affect) Session 12 : Individual differences (aptitude, motivation, affect) Session 13 : Social dimensions of SLA (interaction, socialization); second exam due Session 14 : Social dimensions of SLA (interaction, socialization) Session 15 : Social dimensions of SLA (interaction, socialization); third exam due one week later</p>		
<p><b><u>Evaluation</u></b> Grades will be based on three take-home exams. Answers to these exams may be submitted as a hard-copy or electronically. There will be a penalty for late submission. Unexcused absences will also be penalized, as follows:</p> <p>1 or 2 unexcused absences: drop one letter grade (A-&gt;B, B-&gt;C, C-&gt;D) 3 unexcused absences: drop two letter grades (A-&gt;C, B-&gt;D, C-&gt;D) 4 or more unexcused absences: receive grade of D</p> <p>If you have a legitimate excuse for being absent, it is very important that you inform me.</p>		
<p><b><u>Notice</u></b> The content of this course is especially important for students who want to enter language education or a</p>		

related field.

### **Textbooks and Materials**

Understanding Second Language Acquisition, Ortega

S9486	International Studies	2 Credits
Environment and Human Life (conducted in English) (人間と環境 A)		
Fumiko HAKOYAMA 箱山 富美子	Spring Wednesday/3 <sup>rd</sup>	
<b><u>Course Objectives</u></b> This course will examine the interrelationship between the human beings and the environment, with focus on the history of transformation of the nature by the human beings and its results. Students will become more sensitive, acquire more knowledge and be able to analyses more clearly about what is happening in the environment.		
<b><u>Course Content</u></b> The course consists of lectures and various methods inviting students to participate in group works, discussions, presentations, and playing games and roll-plays.		
<b><u>Course Schedule</u></b> The course is planned so as to enhance students' ability in critical thinking, sharp analysis, posing questions, clear expression, attractive presentation and efficient communication. Session 1 : Orientation Session 2 : Participation in the biggest lesson in the world Session 3 : Nuclear power(1): What happened? Session 4 : Nuclear power(2): What are the problems? Session 5 : Nuclear power(3): What shall we do? Session 6 : Global warming(1): What happened? Session 7 : Global warming(2): what are the problems? Session 8 : Global warming(3): What shall we do? Session 9 : Water(1): Situation of water use in the world Session 10 : Water(2): Water-born diseases Session 11 : Water(3) Conflicts regarding the water Session 12 : Natural Diversity(1): Why natural diversity is important? Session 13 : Natural Diversity(2): What are the problems? Session 14 : Speech Contest of the final report (1) Session 15 : Speech Contest of the final report (2)		
<b><u>Evaluation</u></b> Final report and Speech contest (40%) Presentation during the class (30%) Active participation in the class and weekly reports (30%) The final report /speech contest on: "Silent Spring" by Rachel Louise Carson		

### **Notice**

Active participation in the class such as questions and comments, group discussion and group presentation, is the most required.

To express your opinion in the class as well as in your reports is very important. It will greatly help you in improving your communication ability.

### **Textbooks and Materials**

To be indicated during the course.

9487	International Studies	2 Credits
International Social Development 1 (conducted in English) (国際協力入門 A)		
Fumiko HAKOYAMA 箱山 富美子	Spring Wednesday/4 <sup>th</sup>	
<b><u>Course Objectives</u></b> Students are invited to think deeply about different problems which the world is facing especially in the developing countries. At the end of this course, students will have clear images of various aspects on what are happening in the real world.		
<b><u>Course Content</u></b> The course consists of lectures and various methods inviting students to participate in group works, discussions, presentations, and playing games and roll-plays.		
<b><u>Course Schedule</u></b> The course is planned so as to enhance students' ability in critical thinking, sharp analysis, posing questions, clear expression, attractive presentation and efficient communication. Session 1 : Orientation Session 2 : Education in the developing Countries: "Meena" Session 3 : Participation in the biggest lesson in the world: Education Session 4 : Coexistence of different nations: "Gourd Island" Session 5 : Group Presentation: education in the developing countries Session 6 : Disparity in the world: "Trade Game" Session 7 : Group Presentation: coexistence of different nations Session 8 : Micro-Credit Session 9: Group Presentation: Disparity in the world Session 10 : Child Rights Convention Session 11 : Group Presentation: Fair trade Session 12 : International cooperation Session 13 : Group Presentation: Child Rights Convention Session 14 : Speech contest of the final report (1) Session 15 : Speech contest of the final report (2)		
<b><u>Evaluation</u></b> Final report and Speech contest (40%) Presentation during the class (30%)		

Active participation in the class and weekly reports (30%) The final report /speech contest on: "How to diminish disparities in the world"
<b>Notice</b> Active participation in the class such as questions and comments, group discussion and group presentation, is the most required. To express your opinion in the class as well as in your reports is very important. It will greatly help you in improving your communication ability.
<b>Textbooks and Materials</b> To be indicated during the course.

9489	Japan Studies	2 Credits
Japanese Language and Culture (conducted in English) (国際言語管理)		
Yohey ARAKAWA 荒川 洋平		Spring Monday/4 <sup>th</sup>
<b>Course Objectives</b> Understanding the international communication management and improving intercultural communicative competence.		
<b>Course Content</b> Each group of students are expected to present the contents of one chapter of the coursebook. In its wake, the instructor will lecture including further discussions between students.		
<b>Course Schedule</b> Presentation by students starts from the 3rd session and ends in the 13th session. The 14th session is the workshop. Session 1 : Orientation and English as an International Language Session 2 : Introduction to International Communication Management Session 3 : Chapter 7: Japanese English Session 4 : Chapter 8: Private Companies and LOTE (Languages Other Than English) Session 5 : Chapter 9: Japanese as a Foreign Language Session 6 : Chapter 10: Communication with Customers/Consumers Session 7 : Chapter 12: Sending the Message to the World from Japan Session 8 : Chapter 15: Understanding Different Cultures Session 9 : Chapter 16: World Englishes Session 10 : Chapter 17: Communication and Humor Session 11 : Chapter 18: Nonverbal Communication Session 12 : Chapter 19: Global Business Mind Session 13 : Chapter 21: Business Management and Cultural Diversity Session 14 : Chapter 22: Workshop Session 15 : (optional extra day)		

<b>Evaluation</b> Attendance and Participation : 50% Presentation : 50%
<b>Notice</b> This course is conducted in English though the textbook is written in Japanese.
<b>Textbooks and Materials</b> 『企業・大学はグローバル人材をどう育てるか』 (2012・アスク) 2,520 円

9500	International Studies	2 Credits
★Cultural Studies (conducted in English) (カルチュラル・スタディーズへの招待)		
Ted MOTOHASHI 本橋 哲也		Spring intensive
<b>Course Objectives</b> Cultural Studies are fundamentally concerned with the power relationships of your own daily lives, which create you and are created by yourself. The aim of this class is to introduce some of the key ideas of Cultural Studies through examining cultural materials chosen from various fields of representations.		
<b>Course Content</b> Starting from an introduction of basic concepts of Cultural Studies, we deal with various materials to encourage students to be familiarized with the ways of thinking in Cultural Studies.		
<b>Course Schedule</b> 1. What is Cultural Studies? (Power Point) 2. Discrimination ("Othello") 3. Neoliberalism ("The Land of the Dead") 4. Media ("911 in Plane Site") 5. Globalization ("Life and Debt", "Darwin's Nightmare") 6. US ("Noam Chomsky: 911 and US") 7. Terrorism ("Fahrenheit 911") 8. Environment ("An Inconvenient Truth") 9. Gender and Reproduction ("Vera Drake") 10. Holocaust ("Schindler's List") 11. Sports ("Million Dollar Baby") 12. History ("The War We Were Not Taught About: In the Philippines") 13. Racism ("Malcolm X") 14. Language ("My Fair Lady") 15. Colonialism ("West Side Story")		
<b>Evaluation</b> Attendance(50%) and a written report by any language of your choice (50%).		
<b>Notice</b> Attendance to the class is essential. Lectures are conducted in English.		
<b>Textbooks and Materials</b> Appropriate materials will be provided during the course.		



9503	International Studies	2 Credits
Applied Linguistics (conducted in English) (応用言語学)		
Paul Martin HORNESS ホーネス		Spring Friday/6 <sup>th</sup>
<p><b>Course Objectives</b></p> <p>Course Objectives: The main objectives are to give students a general introduction into the various facets of applied linguistics and the issues involved with them. Students will...</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) become familiar with the field of SLA</li> <li>(2) discuss the process of learning a second language</li> <li>(3) discuss SLA theory and practice</li> <li>(4) discuss individual learner differences</li> <li>(5) outline their beliefs about successful language learning and teaching</li> <li>(6) present their ideas on SLA</li> </ol> <p><b>Course Content</b></p> <p>This is an introductory applied linguistics course. Students will be introduced to a variety of perspectives on language acquisition, including theories on specific L2 language skills.</p> <p><b>Course Schedule</b></p> <p>Session 1 Introduction  Session 2 Native Speakers  Session 3 Native Speakers  Session 4 SLA  Session 5 SLA  Session 6 Psycholinguistics  Session 7 Psycholinguistics  Session 8 Review  Session 9 Sociolinguistics  Session 10 Sociolinguistics  Session 11 Language learners  Session 12 Language learners  Session 13 Assessment  Session 14 Assessment  Session 15 Review</p> <p><b>Evaluation</b></p> <p>Participation: Each week students will be expected to write and present a summary on the weekly theme. 30 points</p> <p>Presentation: Each student will present on one of the previous themes discussed in class. The purpose is to allow students to choose a topic and examine it more deeply. 30 points (2X15)</p> <p>Review: Students will demonstrate their knowledge on one of the themes by participating in speaking discussion. The theme will be randomly chosen from one of the themes covered in class. 15 points (3X5)</p> <p>Final Review: Students will demonstrate their knowledge on one of the themes by participating in speaking discussion. The theme will be randomly chosen from one of the themes covered in class. 20 points</p> <p><b>Notice</b></p> <p>More details will be explained in the first class.</p>		

<b>Textbooks and Materials</b>		
An Introduction to Applied Linguistics (2nd ed.) by Norbert Schmitt, 2010. Great Britain: Hodder Education.		
9506	International Studies	2 Credits
World Religions (conducted in English) (世界の宗教 (E))		
Ileana TRUFAS リアナ・トルファシュ		Spring Tuesday/4 <sup>th</sup>
<p><b>Course Objectives</b></p> <p>The main aim of this course is to broaden the knowledge about Christianity by introducing and discussing some less known topics concerning especially its spiritual, cultural, and artistic heritage. To know and to understand a religious tradition does not mean necessarily to know in detail its history or doctrine. If “each tree is recognized by its own fruit”, it is possible to know Christianity by knowing some of its most accomplished “fruits”. Among the “fruits” this course will deal with are the majestic Gothic cathedral with their marvelous stained glass windows, the more modest but not less impressive Byzantine church with its icons ?silent invitations to prayer and contemplation?, the chanted prayers or the religious music and the words of wisdom born from mystical experiences in the depth of the heart. If not its letter, at least such works could help the understanding of the spirit of Christianity.</p> <p><b>Course Content</b></p> <p>In order to broaden the knowledge about Christianity, this course will introduce and discuss some less known general topics concerning especially its spiritual, cultural, and artistic heritage.</p> <p><b>Course Schedule</b></p> <p>Session 1 : Course introduction  Session 2 : The Desert Fathers and the primitive symbols of Christ  Session 3 : Byzantium: church architecture, art and music (CD)  Session 4 : Mount Athos and the mystical thought in Eastern Christianity  Session 5 : The art of the icon: symbolism and themes  Session 6 : The Prayer of the Heart and “kirie eleison” in music (CD)  Session 7 : Romanesque architecture and art: an introduction  Session 8 : Gothic architecture and art: an introduction  Session 9 : Religious music: from plainchant to polyphony (CD)  Session 10 : Pilgrims and pilgrimage in the medieval West  Session 11 : The book in the Middle Ages: illuminated manuscripts  Session 12 : The Psalms in the Christian religious music (CD)  Session 13 : Mystical thought in Western Christianity: an introduction  Session 14 : Medieval Spain and three cultures</p>		

(Islam, Christianity, and Judaism)' encounter in music (CD) Session 15 : Examination within class
<b><u>Evaluation</u></b> Examination within class 60%, Active participation in class 40%
<b><u>Notice</u></b> All recommendations will be given during the first course
<b><u>Textbooks and Materials</u></b> The materials used in each lecture will be announced during the previous one

Compensation and Reactions in the 1990's and 2000's. 9 Into the 1990's: An Overall Scheme of the Post-War Reparation Issues 10 Koreans and Taiwanese with War-Related Injuries 11 "Comfort Women"
Week 12 - Week 13 War Responsibility and Colonial Responsibility in the International Perspective. 12 Korean BC Class War Criminals 13 Colonial Responsibility
14 Presentations by Students I 15 Presentations by Students II
<b><u>Evaluation</u></b> Active participation in Class 50% Presentation at the end of the term (and/or in-class essay depending on the number of the students) 50%
<b><u>Notice</u></b> The language of lecture and discussion is primarily English. Given that the majority of the texts on these issues are written in Japanese, the outline of each topic will be provided by the lecturer.
I am hoping to have students with different language skills, cultural background and ideological leanings. This class needs to be bilingual, English for speaking, listening, reading and writing and Japanese for reading primary and secondary documents. At the same time, I will try to accommodate the students with no Japanese reading skills.
I will also accommodate students with varying levels of English proficiency. This is a discussion class, meaning that your attendance is essential. I will ask many questions and expect the student to express his or her opinions.
<b><u>Textbooks and Materials</u></b> Handouts will be distributed.

9508	Japan Studies	2 Credits
★Japan and Asia 1 (conducted in English) (日本の戦後補償問題とサンフランシスコ条約体制)		
Taihei OKADA 岡田 泰平		Spring Tuesday/2 <sup>nd</sup>
<b><u>Course Objectives</u></b> This course examines the so-called "Post-War Compensation Issues," such as "comfort women" and the forced labor of Koreans and Chinese. The primary focus of the class rests on Japan's post-war history (1945-Present) as well as Japan's relations with other Asian countries in the post-war period. We will approach these issues at three different levels. First, we will start with positivist historiography, namely what took place under Japan's invasion of other Asian countries. Second, we will focus our attention on reparation issues and history controversies in the post-war period. Third, we will look into different social movements and thoughts and mentalities behind them. For this year, in addition to these issues, we will discuss the influences of the San Francisco Peace Treaty upon the territorial disputes in East Asia.		
<b><u>Course Content</u></b> Japan's "Post-War Compensation Issues" and territorial issues from both domestic and international perspectives.		
<b><u>Course Schedule</u></b> Week 1 - Week 6 Guidance, Impact of the San Francisco Peace Treaty. 1 Guidance 2 Tokyo Trial 3 San Francisco Peace Treaty and Reparation Issues 4 San Francisco Peace Treaty and Territorial Issues 5 Japan's Compensation Scheme (also comparison with West Germany) 6 Bi-lateral treaties with South Korea and Two Chinese States  Week 7 - Week 8 Before the End of the Cold War 7 Social History of Japanese Activism from the 1950's to the 1980's 8 Forced Labor Issues and Atomic Bomb Victims  Week 9 - Week 11 Activism for Post-War		

9478	International Studies	2 Credits
★Corporate Governance and Culture in Comparative Perspective - Seminar (conducted in English) (日本企業の組織と文化－セミナー)		
Hiroki ICHINOSE 市瀬 博基		Spring Tuesday/5 <sup>th</sup>
<b><u>Course Objectives</u></b> (1) To examine the corporate governance and culture of the Japanese corporation as a diverse cross-section of economic, historical, social, and cultural forces in a comparative perspective. (2) To understand how social and cultural factors such as family, gender, class, and nationalism are represented in specific industrial and interpersonal relations at work, as well as miscellaneous influences exerted by the institutional framework.		

(3) To explore the socially constructed process of Nihonjinron (theories/discussions about the Japanese uniqueness and/or superiority) from the 1970s to 90s, and consider how the discourse is still, and tacitly, reproduced in some of the contemporary discussions of Japanese workplace since the 2000s.

### Course Content

This course will explore cultural dimensions of corporate governance in Japan through the examination of its history, discursive construction of "Japaneseness", class/gender, and globalization.

### Course Schedule

This course examines the corporate governance and culture of the Japanese corporation in comparative perspective with the following schedule:

WK01 Introduction  
 WK02 Pre- and Early Industrialization I  
 WK03 Pre- and Early Industrialization II  
 WK04 Pre- and Early Industrialization III  
 WK05 State, Industrial Relations, and Workplace in Postwar Japan I  
 WK06 State, Industrial Relations, and Workplace in Postwar Japan II  
 WK07 State, Industrial Relations, and Workplace in Postwar Japan III  
 WK08 Mid-term Report Review  
 WK09 Aspects of High Economic Growth I  
 WK10 Aspects of High Economic Growth II  
 WK11 Aspects of High Economic Growth III  
 WK12 After the Bubble Burst I  
 WK13 After the Bubble Burst II  
 WK14 After the Bubble Burst III  
 WK15 Final Report Review/Conclusion

### Evaluation

The evaluation will be based primarily on two (mid-term and final) reports and class presentations, with some consideration given to attendance and class participation/discussion.

### Notice

The specifics regarding the course syllabus will be discussed in the first class meeting.

Each class starts with 30 minutes of an introductory lecture, and is followed by 60 minutes of student presentation/class discussion of weekly topic(s). (Students are expected to make a group/individual presentation on a chosen weekly topic. The participation to class discussion is regarded as a pre-requisite for the class.) Students who fail to attend more than three classes, those who do not make class presentations, or those who do not submit two reports will not qualify for the class.

### Textbooks and Materials

Various short readings (papers/articles). There is no textbook for this course.

A recommended reading to give an overview of the topics covered in the class:

Hamada, T. (2005) "The anthropology of Japanese corporate management" in Robertson, J. (ed) A Companion to the Anthropology of Japan, Malden, MA and Oxford: Blackwell, pp.125-52.

9455	International Studies	2 Credits
★ Globalization and Immigration - Seminar (conducted in English) (グローバル化と移民問題)		
Seiko OYAMA 小山 晶子		Spring Thursday/5 <sup>th</sup>
<u>Course Objectives</u> This course aims to reconsider the role of the State as a national political regime by analyzing the transformation of the nature of migration in the context of globalization. The course intends to offer students critical insights into social and cultural problems that might occur in the process of integrating migrants in host societies through a comparative approach. The course is constructed to be practical with exercises including discussions, academic writing tasks, and presentations. Students are expected to write an essay on a chosen topic. Through the steps of the course, students will learn how to pose questions and make valid descriptive and causal inferences by collecting materials, designing surveys, analyzing statistical data, etc.		
<u>Course Content</u> This course aims to assist students to understand and apply the research methods used in social sciences by dealing with the themes such as migration, integration, and identity.		
<u>Course Schedule</u> Each session will consist of a short lecture and practical exercises.		
Session1. Introduction to the course Session2. Scientific Research in the Social Sciences Exercise: Making a list of references and summarizing prior work on the subject Session3. What are major components of research? Exercise: Comparing materials and prior works Session4. Understanding Complexity Exercise: Selecting a research topic and describing the fact Session5. Discussing the chosen topics and sharing the information Session6. Preparation for academic writing(1) Writing a descriptive paragraph and a contrast paragraph Session7. Improving Research Questions (1) Exercise: Explaining cause and effect Session8. Improving Research Questions (2) Exercise: Building hypothesis Session9. Preparation for academic writing(2) Writing a cause and effect paragraph and analysis paragraph Session10. Improving Theory Exercise: Studying observable implications from theories Session11. Collecting data Exercise: Use of data and statistics Session12. Interpreting Materials Exercise: Using observable Implications to Connect theory and data Session13. Preparation for academic writing (3) Writing a persuasive paragraph and organizing the essay		

Session14. Final Presentations (including Q&A sessions)
Session15. Final Presentations (including Q&A sessions)
The topics for each session are subject to change.
<b><u>Evaluation</u></b>
Attendance and class participation 30%
Class Presentations 30%
Writing Assignments (A Term Paper) 40%
<b><u>Notice</u></b>
Students are expected to give short presentations on a chosen topic and participate actively in class discussions. A term paper (between 1,500 words and 3,000 words) is also required to be submitted at the end of the course. Evaluation will be based on attendance, class participation including presentations as well as writing assignments including the term paper.
<b><u>Textbooks and Materials</u></b>
A list of reading materials will be distributed in the first class of the course.

5006	International Studies	2 Credits
★★ Introduction to Linguistics (conducted in English)		
(言語学入門 (統語論) )		
Ryujiro HAYASHI 林 龍次郎		Spring Thursday/3 <sup>rd</sup>
<b><u>Course Objectives</u></b>		
This course offers an introduction to syntactic theory. The aim is to let students acquire the basic knowledge of generative grammar and the methods of "thinking linguistically".		
<b><u>Course Content</u></b>		
Basic principles of syntax (sentence structure) will be introduced and discussed. Examples will be mostly from English. Each week the class consists of a lecture, an exercise, and discussion.		
<b><u>Course Schedule</u></b>		
Session 1 : Introducing theoretical linguistics (1)		
Session 2 : Introducing theoretical linguistics (2)		
Session 3 : Fundamental ideas in generative grammar		
Session 4 : Constituency		
Session 5 : Lexicon		
Session 6 : Complement and adjunct		
Session 7 : X-bar theory		
Session 8 : Head movement		
Session 9 : Functional Projections		
Session 10 : Wh-movement and constraints on movement		
Session 11 : NP movement		
Session 12 : Raising and Control		
Session 13 : Syntax and meaning		
Session 14 : C-command		
Session 15 : Binding		

<b><u>Evaluation</u></b>
Coursework(40%) and a final exam(60%)
<b><u>Notice</u></b>
No prior knowledge in syntax or linguistic theory is required. Active participation in class is essential. An interest in English grammar is helpful. Students must review each lecture at home and are expected to prepare questions.
<b><u>Textbooks and Materials</u></b>
No textbook will be used. Handouts will be distributed in class.
Recommended readings are : (1)Sobin, Nicholas (2011) Syntactic Analysis: The Basics. Wiley-Blackwell. (2)Carnie, Andrew (2012) Syntax: A Generative Introduction. 3rd ed. Wiley-Blackwell.

6026	International Studies	2 Credits
★★ Globalization and Multicultural Communities (conducted in English)		
(英語で学ぶイギリス文化入門)		
Megumi ARAI 新井 潤美		Spring intensive
<b><u>Course Objectives</u></b>		
To introduce various aspects of British culture. The focus will be on the development, the image and stereotypes of the suburbs in Britain, how the suburbs are represented in literary works, films, music and other media, and how such representations are related to the concept of class in British history and culture.		
<b><u>Course Content</u></b>		
Referring to literary texts, plays, films TV dramas, etc., we will look at the image of the suburbs in Britain, and also at representations of the suburbs in American culture for comparison.		
<b><u>Course Schedule</u></b>		
Session 1 : Class and the Suburbs in Britain 1		
Session 2 : Class and the Suburbs in Britain 2		
Session 3 : Class and the Suburbs in Britain 3		
Session 4 : Class and the Suburbs in Britain 4		
Session 5 : Class and the Suburbs in Britain 5		
Session 6 : Class and the Suburbs in Britain 6		
Session 7 : Class and the Suburbs in Britain 7		
Session 8 : Class and the Suburbs in Britain 8		
Session 9 : Class and the Suburbs in Britain 9		
Session 10 : The American Suburbs 1		
Session 11 : The American Suburbs 2		
Session 12 : The American Suburbs 3		
Session 13 : The American Suburbs 4		
Session 14 : The American Suburbs 5		
Session 15 : Summing Up		
<b><u>Evaluation</u></b>		
Students will be required to write several short essays in English during the course.		
<b><u>Notice</u></b>		



All the lectures will be in English, and students are required to use English only inside the classroom. Students will be required to prepare for the course by reading the handouts given out at the beginning of the course.

### Textbooks and Materials

Handouts will be given out at the beginning of the course.

7068	Japan Studies	2 Credits
★★Topics of Japanese Society (E) (ジェンダー, フェミニズム, グローバル化)		
Kaoru AOYAMA 青山 薫		Spring intensive

### Course Objectives

A far-reaching aim of this course is to equip ourselves with recognition of differences among us, people living in the world and in Japan, towards construction of an open-minded society where our differences are asserted safely and treated with respect. As feminism and gender studies are principally tools to sensitize ourselves to importance of both differences and solidarity, this course uses discussion on contemporary global gender and feminist issues to achieve the aim.

### Course Content

This course deals with contemporary gender and feminist issues beyond national, academic and cultural borders. English is the medium 'critically' used as a language with power to colonise.

### Course Schedule

The following themes/sessions may be swapped or changed to different ones. Lectures, discussions and other materials such as films are planned to link theory, history, culture, social movement and our daily life.

- Session 1 : Introduction: What's Feminism? What's Gender Studies? Why is it good to talk about them?
- Session 2 : A Rough History of Contemporary Feminism
- Session 3 : Japanese Context: from before Suffrage to Backlash
- Session 4 : Various Asian Contexts: Colonization and North-South Divide
- Session 5 : Post-colonialism and Different Sorts of FeminismS
- Session 6 : Gender Studies and Mainstreaming of Feminism
- Session 7 : Lesbian/Gay Movement and Heterosexual Feminism
- Session 8 : Queer Existence verses Identity Politics
- Session 9 : Feminization of Poverty, Labor and Migration
- Session 10 : Trafficking in Women in the Global Economy
- Session 11 : Prostitution as Slavery?
- Session 12 : Sexwork as Work: Life Style or Class Struggle
- Session 13 : Why Do They Matter?: Love and Marriage

- Session 14 : (Women and Pornography)
- Session 15 : (Conclusion: How to write your essay)

### Evaluation

One term-end essay, in English, weighs 60 %, and the total of attendance, contribution to the class through discussions and occasional after-class notes weigh 40 %.

### Notice

Do not worry too much if you are not confident with English. Broken and/or different sorts of EnglishS are welcome; fluent speakers shall also learn to be democratically patient.

HOWEVER, YOU NEED TO SPEAK AND WRITE THE TERM-END ESSAY IN ENGLISH; if you NEED an A or A+ in order to gain a grant, for instance, you must be equipped with enough spoken and written English to express yourself for a higher mark.

Both you and I shall make efforts for all to contribute to the class anyway!

### Textbooks and Materials

Power Point handouts and other references are delivered in classes.

9456	総合科目Ⅷ	2 単位
日本語文法の諸相—日本語教育文法として		
楠本 徹也		前期水 5
<u>授業の目標</u> 日本語を一つの外国語として捉え、その特質を探る。		
<u>授業の概要</u> 日本語の特徴に関して、日本人学生と留学生が共に考えていく。		
<u>授業の計画</u> 第1回: プロローグ: 日本語を外国語として見るとはどうか。授業内容の説明 第2回: 日本語教育概観 第3回: 日本語の構文的特質 1: I love you を日本語でどう言うか。 第4回: 日本語の構文的特質 2: I love you を日本語でどう言うか。 第5回: 日本語の構文的特質 3: I love you を日本語でどう言うか。 第6回: 提題性および関連事項: ハとガ 第7回: 肯否性: ハイとイエ、否定疑問文 第8回: 待遇性: 敬語 第9回: 他動性: 助詞ヲ 第10回: 可能・自発性: 動詞レル/ラレル形 第11回: 被害・恩恵性: 受身文、授受動詞文 第12回: テンスとアスペクト 第13回: 仮定表現 第14回: まとめ 第15回: 筆記試験		
<u>成績の評価</u> 出席 50%、筆記試験 50%		
<u>受講上の注意</u>		

事前の文法知識は不要。授業では日本人学生と留学生と一緒に考えていくので、積極的に参加すること。

### テキスト・教材

授業にてプリント配布

9494	総合科目Ⅷ	2 単位
メディアとしての浮世絵		
藤澤 茜		前期水 4
<b>授業の目標</b> 江戸時代（1603～1868）を中心に流行した浮世絵版画は、鮮やかな色彩や細密な表現が芸術的に高い評価を受け、ゴッホやモネなど海外の画家にも影響を与えている。その一方で、娯楽やファッション、社会現象など、様々な情報を盛り込んだ内容の作品も多く、江戸庶民に必要なメディアとしての役割も果たしていた。 この授業では浮世絵の持つ情報性に注目し、個々の作品を読み解きながら、浮世絵が江戸庶民に与えた影響力の大きさについて考えたい。美人画、役者絵、風景画など主要な画題のほか、地震などの災害や物価の上昇といった社会的な内容、外国の珍しい文化などをどのように伝達するかという点にも注目する。そして、新聞の役割を果たした錦絵新聞や商品広告の図などを通じて、現代のメディアへの継承についても検証したい。 なお授業中に約 150 年前に作成された浮世絵版画を持参し、鑑賞する機会をもうける。近くで見て、触って、浮世絵に親しんでもらいたい。		
<b>授業の概要</b> 版画の制作過程を解説し、浮世絵に描かれる歌舞伎役者、ファッション、名所、外国文化、地震、商品広告などの情報を検証することで、浮世絵が果たしたメディアとしての役割について明らかにする。		
<b>授業の計画</b> 授業は以下の計画によって行なわれる。 第 1 回：ガイダンスー浮世絵とは何か 第 2 回：浮世絵のできるまでー「彫り」と「摺り」 第 3 回：風景画の情報 1 北斎と富士山 第 4 回：風景画の情報 2 広重と江戸名所 第 5 回：風景画の情報 3 双六と江戸名所・全国の名所を描く 第 6 回：美人画に見る女性のおしゃれ 第 7 回：浮世絵と広告 1 呉服・化粧品 第 8 回：浮世絵と広告 2 薬・浮世絵の板元 第 9 回：江戸のスター歌舞伎俳優の死絵ー訃報をどう伝えるか 第 10 回：鯉絵ー地震と浮世絵 1 第 11 回：鯉絵ー地震と浮世絵 2 第 12 回：西洋の文化と浮世絵 1 異文化との交流 第 13 回：西洋の文化と浮世絵 2 横浜絵に見る異国 第 14 回：浮世絵に見る江戸の経済情報・明治の錦絵新聞 第 15 回：まとめ		
<b>成績の評価</b> 平常点（30%）、小レポート（30%）、学期末レポート（40%）によって総合評価する。平常点は出席と毎回の授業の際に提出してもらうコメントシートの内容によって評価する。 全 15 回の授業のうち、必ず 10 回以上出席すること。		
<b>受講上の注意</b> 第 1 回目の授業に必ず出席すること。		
<b>テキスト・教材</b>		

教科書の指定はない。授業時にプリントを配布する。なお、以下に参考文献を挙げておくので興味のある人は、参考にしてほしい。

『幕末・明治のメディア展：新聞・錦絵・引札』（早稲田大学図書館編、1987 年）  
『江戸のニューメディアー浮世絵 情報と広告と遊び』（高橋克彦著、角川書店、1992 年）  
『鯉絵：震災と日本文化』（宮田登、高田衛監修、里文出版、1995 年）  
『歌川派の浮世絵と江戸出版界』（藤澤茜著、勉誠出版、2001 年）  
『浮世絵が創った江戸時代』（藤澤茜著、笠間書院、2013 年）

9495	総合科目Ⅷ	2 単位
日本の社会と宗教		
平藤 喜久子		前期火 4
<b>授業の目標</b> 今の日本社会で話題となっている宗教をめぐる問題について知識を得る。 その問題についてディスカッションすることにより、自分の意見をもてるようになる。		
<b>授業の概要</b> 「授業の計画」に挙げているようなテーマを中心に、調べ、発表をする。		
<b>授業の計画</b> 第 1 回 インTRODクシヨソ 第 2 回～6 回 外国人に知ってもらいたい日本の宗教文化 第 7 回～13 回 日本の宗教と社会に関する発表とディスカッション 第 14 回 まとめ 第 15 回 まとめ		
取り上げる予定のテーマは次の通り。 日本の年中行事 日本人の一生と宗教 日本人の結婚式 日本人の葬式 アニメ・マンガと宗教 ゲームと宗教 音楽と宗教 文学と宗教 日本の世界遺産 言葉のなかの宗教 特定の宗教団体について調べる		
<b>成績の評価</b> レポート 25% プレゼンテーション 50% 授業時の質疑応答 25%		
<b>受講上の注意</b> この授業で使用される言語は、日本語である。 授業は演習形式で行われる。発表は複数回担当することもある。 日本人学生には、とくに積極的に授業運営に参加し、活発な質疑応答を行うことが求められる。		
<b>テキスト・教材</b> なし		

9496	総合科目Ⅷ	2単位
現代日本の宗教文化		
平藤 喜久子		前期火 5
<p><b>授業の目標</b></p> <p>一般的に日本人の多くは複数の宗教と関わりを持つといわれている。たとえばお正月には神社に初詣に行き、結婚式はキリスト教式で行い、お葬式は仏教式で行う人は珍しくない。その一方で、日本人は無宗教であるとも言われる。</p> <p>この授業では、日本の宗教に関する基礎的な知識を得ること、その上で現代の日本人と宗教との関わりについて考えることを目標としている。</p> <p><b>授業の概要</b></p> <p>現代日本の宗教に関する状況を、アンケート調査の結果や、写真、動画、映画やアニメ、マンガなどを使いながら紹介していく。</p> <p><b>授業の計画</b></p> <p>第1回 インTRODakション  第2回 日本人の宗教意識  第3回 日本人の宗教意識  第4回 日本人と神道  第5回 日本人と神道  第6回 日本人と仏教  第7回 日本人と仏教  第8回 日本人と仏教  第9回 日本人とキリスト教  第10回 日本人とキリスト教  第11回 日本人と新宗教  第12回 日本人と新宗教  第13回 まとめ  第14回 まとめ  第15回 まとめ</p> <p><b>成績の評価</b></p> <p>授業時に課した課題など 30%  レポート 70%</p> <p><b>受講上の注意</b></p> <p>この授業は、日本語で講義を行う。</p> <p><b>テキスト・教材</b></p> <p>なし</p>		

**ISEPTUFS Students & Special Auditing Students  
Guidebook of class registration  
=2013 Spring Semester=**

**ISEPTUFS・特別聴講学生 履修案内 =2013 年春学期=**

**2013 年 3 月発行**

**編 集 ・ 発 行**

**東京外国語大学留学生課**

**〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1**